



しろしたこうさく 城下広作 県政報告誌

県民の身近な代弁者
熊本県会議員



熊本県庁
〒862-8570
熊本市水前寺6-18-1
Tel.096-383-1111
(内線2008)

県民の身近な代弁者

2012年 7月発行

第 51 号



ご挨拶

猛暑の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、6月県議会も先月27日に幕を閉じ、4月実施の知事選で再選された満島県政の第2ラウンドがスタートし、2期目の県政運営方針「幸せ実感くまもと4カ年戦略」を見据えた本年度の予算案が可決しました。依然厳しい県内の景気や雇用情勢、知事が言う「熊本から日本を再生していく」との決意を具体的に実現するため、県議の立場で、常に現場の声に耳を傾け、今必要な手立ては何か、ありとあらゆる分野の方々に意見を頂戴し、伺った意見は必ず実現するとの思いで、この夏を戦って参ります。

熊本県議会議員 城下広作

◆皆様の声を実現◆

6月議会に予算が計上されました!!

●補聴器購入助成制度実現…これで授業も安心!



昨年12月議会で軽度・中度難聴児の補聴器購入助成制度の対応について伺いました。今までの軽度・中度難聴児の補聴器購入助成制度は、両耳の聴力レベルが70デシベル以上のものあるいは片方の聴力レベルが90デシベル以上で、もう片方が50デシベルものと規定され、この判断基準に該当すると、身体障害者手帳が交付され、補聴器を1割負担で購入することができました。ただ、実際にはこの基準外でも難聴児たちは聞き取りにくく、特に授業の影響が心配されていました。この様な心配を取り除くために、県が3分の1の助成を決定し、市町村も助成に加われば、個人負担が3分の1で済むようになります。

●動き出した…県立特別支援学校新設計画!!

以前より、知的障害・ダウン症・発達障害の子供を持つ保護者の皆様から熊本市内ある特別支援学校の定員が少ないために入学が困難な問題や、機能充実も含めた支援学校の新設を求める要望が強くあり、平成22年には保護者らと署名と要望書を当時の教育長に手渡しました。その結果、昨年2月には熊本市西区横手の元県警第2別館跡地に特別支援学校の新設が決定し、この6月議会で建築設計予算が計上されました。署名活動に協力された皆様から大変喜んでもらっています。



「城下広作」最近の活動状況

●県特産品「八代のイクサ」がピンチ!

畳表の原料となるイグサは熊本県が生産日本一。4月中旬頃から先端が赤く変色し枯れはじめるとともに根の張りが悪く十分に生育しないとの声を聞き、早速現地へ赴き、生産者等と意見交換し原因究明や今後の対応についての要望を受けてきました。

現在、県の関係部所や国会議員との連携で原因究明と被害の救済について検討しています。



●国立ハンセン病療養所内に保育園誕生!!

合志市の「菊池恵楓園」敷地内に保育園「かえでの森こども園」が開所されました。以前、この施設の入所者からハンセン病患者ということで偏見や差別を受けてきた歴史をお聞きしたことがあり、今回の保育園開所は地域の皆様、特に、若い保護者の皆様に過去の経緯を正しく理解する切っ掛けになるのではと期待する声が聞こえています。園の成功を心から期待したいと思います。



●九州の筋ジストロフィー患者や家族が熊本に!

6月2日(土)、菊南温泉ユウベルホテルで、第48回、社団法人日本筋ジストロフィー協会、九州ブロック熊本大会が開催されました。この大会の開催に当たり1年前から陰ながら応援をさせて頂き、当日来賓としてお招きを頂きました。患者と家族の皆様はQOL(生活の質)の向上を求めています。これからも、この要望に応えるため全力で取り組んで参る決意です。



●災害に強いインフラ整備推進に全力!!

6月5日(火)熊本市白川に架かる子飼橋の立て替え現場を、公明党県議団と市議団合同で視察に行きました。交通量の増加と耐久年数の問題等もあり車線数も倍増、より強固な橋の架け替えに地元のみならず、他地域からの利用者からも期待が寄せられています。公共事業が悪とばかり捉えるのではなく、必要なインフラ整備は、着実に推進する必要があると考えます。



●ホットライン (お気軽にご相談ください)

県議会/096(383)1111(内線2008)・携帯電話/090-8661-7722

●ホームページ <http://kumamoto-komei.net/shiroshita/>

●メール shiroshita@kumamoto-komei.net